

【様式①】令和5年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立青山中学校

校長名 平塚 剛

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	・自らの学びを調整し、個別最適に学び続けることができるように、ICT機器の活用や学びの場を工夫する。 ・岐阜市のよさを意欲的に学ぶことができるように、「ぎふMIRAI's」と教育課程を効果的に関わらせる。	B	・どの教科指導においても、ICT機器を活用し、個別学習と協働学習を効果的に位置付けたため、学習アンケートでは「教科の授業は将来の役に立つ86%」「教科の授業はよくわかる81%」であった。 ・「ぎふMIRAI's」で、岐阜空襲や地域探索など、全ての学年で位置付けたため、岐阜のよさを実感できる姿が見られた。	・タブレットなどのICT機器に対する抵抗感なく、積極的に授業で活用している姿が見られた。 ・同学年、異学年など、誰とでも積極的に協働学習する姿が見られた。 ・地域から学び、郷土理解に繋がるような学習内容が位置付けられていた。	・タブレットなどのICT機器の積極的な活用を推進する。 ・一人一人の生徒が自分により適した学びを見つけられるように、個別学習と協働学習を効果的に位置付ける。 ・郷土理解をより深めるために、今後も教育課程に「ぎふMIRAI's」の内容を効果的に位置付ける。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	・コミュニティ・スクールの組織を生かし、地域の行事等に積極的に参加できるようにはたらきかけ、地域人材の育成に繋げる。 ・小中の連携を行うことで、校区の財産としての挨拶活動になるように努める。	A	・キャリア部会や地域活動部会を中心に、生徒が活躍できる場を計画的に位置付けたため、約90%の生徒が進路を考える大切さを実感した。また、地域ボランティアに参加した生徒が30人ほど増えた。 ・生徒会と児童会が連携し、挨拶運動を行い、気持ちのよい挨拶が広まった。	・生徒が自分の適性を見つめ、将来について考えることができ、キャリア教育の充実に繋がっている。 ・地域ボランティアの生徒の姿が温かく頼もしく感じる場面が多く見られた。 ・小学生が、中学生の姿に憧れをもてる文化がある。	・生徒一人一人が自己理解を深め、自己開拓を進める点でも、今後もキャリア部会や地域活動部会と連携を密にし、地域での人材育成の充実を図る。 ・小中連携をする中で、挨拶運動以外の活動でも可能な範囲で連携できる場を模索する。
あたたかさと働きがいにあふれる学校づくり	・教師一人一人の強みを生かし、そのよさを生かしながら、学校経営にあたる。 ・学校行事や教育過程等を見直し、負担軽減を図る。	A	・教師一人一人が自分の強みを見つけたり、価値観の違いを理解したりする機会となるように、自己表現できる場を増やしたため、創造力を働かせて粘り強く指導する姿が見られた。 ・各行事で願う姿を明確にすることで、行事への取り組み方や教育課程の見直しできた。	・生徒の姿がよいのは、それを支える教職員の姿勢がよいからであり、生徒を大切にしている姿から温かさを感じた。 ・限られた時間の中で、願う姿を明確にしたり見通しをもたせたりするなど教育効果が上がるような工夫が見られた。	・今後も生徒がさらに伸びるように、一人一人の教師が自分のよさを自覚できる場や伸ばす場を位置付けるとともに、生徒に温かく寄り添い続ける資質・能力を育む。 ・不易と流行においても、「必然性」を大切にした改善を継続する。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	・あらゆる事故・事案を想定して、避難訓練や事案対応マニュアル等を活用して、生徒が安心・安全に生活できるようにする。	B	・事案対応マニュアルをもとに、生徒の命を守ることを最優先に、避難訓練や事故対応、警報発令時等の対応をしてきたため、全生徒の命を守ることができた。 ・毎月のいじめアンケートや毎日のここタンなど、あらゆる機会を通して生徒の悩みに寄り添い続けることで、生徒が安心して生活できるようにした。	・生徒一人一人が命の大切さを考えるような活動が具体的に位置付いており、生徒が安全に生活できる場となっている。 ・生徒が安心して生活することができるように、日々の生活の中で生徒に寄り添いながら指導していることが感じ取られる。	・想定外の出来事にも、冷静に判断し、命を守り続けることができるように、1つ1つの命を守る訓練などの活動の充実を図る。 ・生徒のシグナルを感じ取り、行動の裏側にある気持ちに寄り添いながら、生徒一人一人がより安心して過ごせるような支援の充実を図る。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	・各管理場所の定期点検を確実に継続するとともに、修繕の必要がある場合は、迅速に対応する。 ・学校財務においては、適切な環境となるように定期的な監査を位置付け、対応する。	B	・定期点検後だけでなく常時修繕が必要な案件は、教育委員会や業者と連携し、迅速に対応できた。 ・定期的な監査によって、計画に沿った適切な会計事務であることが認められた。	・定期的な環境点検を確実に実施しているため、環境が整備されている。 ・適時、修繕等が必要な場合に適切に対応している。 ・適切に会計監査が位置付けられており、使用目的も明確である。	・気持ちのよい環境づくりを継続するためにも、今後も定期的な環境点検を確実に位置付けるとともに、修繕等が必要な場合は、迅速に対応する。 ・適正な会計財務を継続するとともに、会計監査を適切に位置付ける。

HPアドレス:

<https://gifu-city.schoolcms.net/seizan-j/>